（別記）

令和８年度陸前高田市農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当地域は、平成 23 年の東日本大震災において、甚大な被害を受けた地域であり、農地に関しても津波の影響を受けたが、平成 31 年春に農地の復旧が完了した。

令和７年産の主食用米は、市内全水田作付面積のうち約 76%を占め、前年度から 12%の増となった。転作作物は約 24%で、その内訳は、飼料用米、大豆、野菜の順に面積割合が高く、土地利用型作物の担い手への集積が進んでいる。

本市では「たかたのゆめ」のブランド化を目指し、一定程度の水田及び主食用米の作付面積を維持していく必要が有る。

令和５年産米の不作の影響や、食品の価格高騰の影響から令和６年度に主食用米の需要が供給を上回り、主食用米の相対取引価格は過去例のないほど高騰したことをうけて、当地域でも令和７年産の主食用米の作付面積は増加した。今後は需給変動や減少傾向の消費への備えも必要となり、作物ごとの生産目安達成に向け、手厚い転作支援が必要である。

加えて、農家の高齢化、農家戸数の減少と水田の遊休農地化が進んでおり、担い手となる農業者の確保と農地の集積の推進は引き続き重要な課題である。また、気候変動や資材コスト上昇への対応、後継者育成と技術継承も地域農業の持続的発展のために不可欠である。

２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

当地域は東日本大震災からの復旧に合わせ基盤整備事業を行った地域も多く、基盤整備後の水田は概ね農業法人や担い手が主食用米を中心に耕作している。地域として「たかたのゆめ」のブランド化を目指していることもあり、今後も水稲が生産の主力である。

従って転作作物に取組むにあたっては、新規需要米、特に飼料用米への取組が技術的、設備的に適当であり、現に当地域の転作の取組として最も面積が多い。県外へ独自の販路を持つ農業者もあるが、基本的には管内の養豚業者等の需要があり、今後もＪＡ等を中心に実需者を確保しつつ、取組面積拡大を目指す。

また地域では酒造、しょうゆ等の醸造産業が盛んであり、それらの需要状況に合わせ加工用米の取組も推進することとする。

高収益野菜・果樹については、トマト、きゅうり、いちご、ピーマンなど、ある程度の規模で取組んでいるものの、現状では産地としての地位を確立できるほどの収量、作付面積ではない。現在、畑を中心にしょうがを生産しブランド化した農業者があることから、水田での生産拡大を目指し、これらの作物もあわせて重点的に振興作物として取組むとともに、いちごのように契約販売等の販路拡大にも取組むこととする。

また小規模の農家は主に自家用野菜等を作付けしているが、市内の産直施設での出荷販売を促し、収益向上と農地利用維持を支援する。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

当該地域は、東日本大震災において甚大な被害を受けた海岸に近い地域に平野部があり、これらの地域では基盤整備事業を活用しながら復旧した水田が広がっている。このうち一部地域で大豆と水稲のブロックローテーションを行っており、引き続き計画的な生産を推進する。

一方で中山間地では過疎・高齢化の影響と、当地域特有の急傾斜、小区画の水田が多いこ

とから農地の集積を行う担い手がつきにくく、各集落で中山間地域等直接支払制度等を活用しながら毎年管理こそしてはいるものの、作付自体がなされていない農地が多い。地力増進作物による地力の回復などの取組みとあわせ、担い手の確保及び取組作目の選定が必要であり、高収益作物やそば等による畑地化も含め検討していく。

４　作物ごとの取組方針等

市内の約 524ha（不作付地を含む）の水田について、適地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大を図ることとする。

（１）主食用米

作付面積は生産目安を参考とするが、「たかたのゆめ」のブランド化を中心に売れる米作りの徹底によって米の主産地としての地位を確保するため、現状の維持を目指す。災害復旧や基盤整備を行った水田を中心に、集荷業者等の意向を勘案しつつ、米の生産を行う。

（２）備蓄米

生産目安と地域農家の作付意向を考慮しながら必要に応じて取組む。

（３）非主食用米

ア　飼料用米

市内の飼料用米の作付は、担い手を中心に転作作物の中では最大の取組割合であり、多収品種への取組や団地化も進んでいる。本市において飼料用米は転作作物の中心に位置づけられる。

令和６年産の主食用米の取引価格高騰の影響から主食用米への回帰により飼料用米の作付面積が大幅に減少しており、主食用米との所得格差是正の観点からも一層の支援措置が必要である。

養豚業者等実需者の確保を図りつつ、ほ場整備区域を中心に新たな担い手の確保、また現取組者の作付け維持と集積、団地化への取組を推進し、作付面積の維持と単収及び収量の増加を図る。

イ　米粉用米

地域の需要者との契約に基づき、作付面積の拡大を図る。

ウ　新市場開拓用米

取組の予定なし。

エ　WCS 用稲

地域の需要者との連携を図り、作付面積の拡大を図る。

オ　加工用米

地域の需要者との契約に基づき、作付面積の拡大を図る。

（４）麦、大豆、飼料作物

令和６年産から水田において二条大麦を作付けした担い手がおり、今後も規模拡大の意向がある。当地域では生産の実績がほとんどないことから、取組みを参考にしつつ、他の農業者への取組拡大を図る。

大豆について、生産･販売は一部の農家にとどまる。ＪＡ等及び地域の需要者との契約に基づきながら、ほ場整備区域で営農する担い手を中心に大豆作付けへの誘導を行い、また団地化による作業の効率化及び排水対策等の重点技術対策を実施することで需要に応じた高品質安定生産を目指し、作付面積の拡大と収量の増加を図る。

飼料作物については、畜産農家との供給協定に基づいた作付に取組む。

（５）そば、なたね

そばについては、地域の需要者との契約を中心に、水田に限らず現行の栽培面積の拡大を目指す。また、産地交付金を活用して排水対策の取組を支援し、高品質高単収に向けた対策を推進する。

なたねについては、作付の見込みがなく、現状では取組について想定しない。

（６）地力増進作物

地力増進作物については、水稲の単収を見た場合でも県平均単収に大きく及ばない状態であり、東日本大震災の被災に関わらず内陸に比べ地力は高くないことから、市内全域を対象として計画する。

地力増進作物としてはえん麦、クローバー類、ソルガム等の作付けを対象とし、水田に漉き込むことにより地力向上に努め、もって大豆、高収益作物等の収量増加を目指すこととする。

（７）高収益作物

集落の条件を生かし、平地においては施設型野菜を、中山間地域等においては、労働集約型作物の導入・拡大を推進する。「トマト」、「きゅうり」、「なす」、「ピーマン」、「いちご」、「ほうれんそう」、「かぼちゃ」、「たまねぎ」、「ねぎ」、「りんどう」、「小ぎく」を重点品目とし、重点的な生産振興により、個性ある産地確立を図る。

別紙

５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位:ha）

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和８年度の作付目標面積等	
		うち二毛作		うち二毛作		うち二毛作
主食用米	273.00	0.00	278.00	0.00	278.00	0.00
備蓄米	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
飼料用米	27.88	0.00	30.00	0.00	30.00	0.00
米粉用米	0.98	0.00	1.50	0.00	1.50	0.00
新市場開拓用米	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
WCS用稲	6.44	0.00	7.00	0.00	7.00	0.00
加工用米	1.80	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00
麦	0.07	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
大豆	24.98	0.00	26.00	0.00	26.00	0.00
飼料作物	3.93	0.00	4.00	0.00	4.00	0.00
・子実用とうもろこし	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
そば	0.54	0.00	0.55	0.00	0.55	0.00
なたね	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
地力増進作物	0.00	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
高収益作物	12.77	0.00	13.25	0.00	13.25	0.00
・野菜	12.20	0.00	12.30	0.00	12.30	0.00
トマト	1.32	0.00	1.40	0.00	1.40	0.00
きゅうり	0.83	0.00	1.10	0.00	1.10	0.00
なす	0.04	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00
ピーマン	1.05	0.00	1.20	0.00	1.20	0.00
いちご	0.86	0.00	0.90	0.00	0.90	0.00
ほうれんそう	0.00	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00
かぼちゃ	1.22	0.00	1.50	0.00	1.50	0.00
たまねぎ	1.62	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
ねぎ	3.36	0.00	3.50	0.00	3.50	0.00
上記以外の野菜	1.90	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00
・花き・花木	0.36	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
小ぎく	0.27	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
りんどう	0.00	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00
上記以外の花き・花木	0.09	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00
・果樹	0.21	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
・その他の高収益作物	0.00	0.00	0.15	0.00	0.15	0.00
その他	0.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00
畑地化	1.00	0.00	0.72	0.00	0.72	0.00

６ 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	市振興作物である野菜（トマト（加工用を除く）、きゅうり、なす、ピーマン、いちご、ほうれんそう、かぼちゃ、たまねぎ、ねぎ）及び花き（りんどう、小ぎく））	振興作物推進助成（重点品目）	市の重点品目の作付面積	（令和７年度） 5.6ha	（令和８年度） 5.5ha
2	市の準振興作物（別紙１助成対象作物一覧のとおり）	作物作付助成（準振興作物）	市の準振興作物の作付面積	（令和７年度） 0.5ha	（令和８年度） 1.0ha
2	市のその他振興作物（別紙１助成対象作物一覧のとおり）	作物作付助成（その他振興作物）	その他振興作物の作付面積	（令和７年度） 1.1ha	（令和８年度） 2.2ha
3	大豆	担い手加算助成（大豆）	取組面積 （直近３年）平均単収	（令和７年度） 24.9ha 105kg/10a	（令和８年度） 26.5ha 140kg/10a
3	飼料用米	担い手加算助成（飼料用米）	取組面積 平均単収	（令和７年度） 27.9ha 520kg/10a	（令和８年度） 40.0ha 600kg/10a
4	飼料用米	団地化加算助成（２ha、４ha）	団地化面積（2ha） （定着度） 団地化面積（4ha） （定着度） 労働時間	（令和７年度） 24.2ha (87%) 20.7ha (74%) 6.5h/10a	（令和８年度） 36.0ha (90%) 24.0ha (60%) 5.5h/10a
5	そば	【国枠】そば作付助成	作付面積	（令和７年度） 0.5ha	（令和８年度） 1.0ha
6	地力増進作物	【国枠】地力増進作物作付助成	作付面積	（令和７年度） 0.0ha	（令和８年度） 2.0ha

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください
※　目標期間は３年以内としてください。

7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：岩手県

協議会名：陸前高田市農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	振興作物推進助成（重点品目）	1	35,000	市振興作物である野菜（トマト（加工用を除く）、きゅうり、なす、ピーマン、いちご、ほうれんそう、かぼちゃ、たまねぎ、ねぎ）及び花き（りんどう、小ぎく）	作付面積に応じて支援
2	作物作付助成（準振興作物）	1	27,000	市の準振興作物 （別紙1助成対象作物一覧のとおり）	作付面積に応じて支援
2	作物作付助成（その他振興作物）	1	13,000	市のその他振興作物 （別紙1助成対象作物一覧のとおり）	作付面積に応じて支援
3	担い手加算助成(大豆）	1	6,000	大豆	地域計画に記載された担い手による大豆の作付に助成
3	担い手加算助成（飼料用米）	1	10,000	飼料用米	地域計画に記載された担い手による飼料用米の作付に助成
4	団地化加算助成（2ha）	1	3,000	飼料用米	2ha以上の団地化がなされているものに対して助成
4	団地化加算助成（4ha）	1	5,000	飼料用米	4ha以上の団地化がなされているものに対して助成
5	【国枠】そば作付助成	1	20,000	そば	排水対策等
6	【国枠】地力増進作物作付助成	1	20,000	地力増進作物	作付面積に応じて支援

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携）」と記入してください。
　　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2　「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

別紙1

○助成対象作物一覧

区分1	区分2	作物名	単価	備考
野菜	準振興作物	ズッキーニ	27,000	
		ブロッコリー	27,000	
		はくさい	27,000	
		レタス	27,000	
		だいこん	27,000	
		さといも	27,000	
		アピオス	27,000	
		スイートコーン	27,000	
		アスパラガス	27,000	※1
		さやえんどう	27,000	
		ヤーコン	27,000	
		さやいんげん	27,000	
		えだまめ	27,000	※3
		キャベツ	27,000	※3
		にんじん	27,000	※3
		ばれいしょ	27,000	※3
	その他振興作物	すいか	13,000	
		メロン	13,000	
		れんこん	13,000	
		甘しょ	13,000	
		ゴーヤ	13,000	
		しょうが	13,000	
		うり	13,000	
		とうがらし	13,000	
		オクラ	13,000	
		セルリー	13,000	
		シソ	13,000	
		カリフラワー	13,000	
		コモチカンラン	13,000	
		こまつ菜	13,000	
		みょうが	13,000	
		しゅんぎく	13,000	
		みつば	13,000	
		せり	13,000	
		パセリ	13,000	
		にら	13,000	
		らっきょう	13,000	
		食用菊	13,000	
		かぶ	13,000	
		わさび	13,000	
		くわい	13,000	
		そらまめ	13,000	
		ぎょうじゃにんにく	13,000	
		こしあぶら	13,000	
		みず	13,000	
		ながいも	13,000	
		なばな	13,000	
		ごぼう	13,000	
		うど	13,000	
		たらの芽	13,000	
		上記記載作物以外	13,000	

区分1	区分2	作物名	単価	備考
花き	準振興作物	ストック	27,000	
		トルコギキョウ	27,000	
		スターチス	27,000	
		ゆり	27,000	
	その他振興作物	輪ぎく	13,000	
		アスター	13,000	
		カーネーション	13,000	
		ばら	13,000	
		アルストロメリア	13,000	
		ガザニア	13,000	
		クリスマスローズ	13,000	
		サルビア	13,000	
		ジギタリス	13,000	
		シクラメン	13,000	
		デルフィニウム	13,000	
		パンジー	13,000	
		ビオラ	13,000	
		ベゴニア	13,000	
		ペチュニア	13,000	
		マーガレット	13,000	
		マリーゴールド	13,000	
		ラベンダー	13,000	
		ルピナス	13,000	
		ネモフィラ	13,000	
		日々草	13,000	
		対象作物の鉢もの	13,000	
		対象作物の花壇用苗もの	13,000	
		上記記載作物以外	13,000	
果樹	準振興作物	ブルーベリー	27,000	※2
		ゆず	27,000	※2
	その他振興作物	りんご	13,000	※1
		日本なし	13,000	
		西洋なし	13,000	
		もも	13,000	
		うめ	13,000	
		びわ	13,000	
		かき	13,000	
		くり	13,000	
		いちじく	13,000	
		キウイフルーツ	13,000	
		くるみ	13,000	
		ぶどう	13,000	
		おうとう	13,000	
		上記記載作物以外	13,000	
雑穀	準振興作物	あわ	27,000	
		ひえ	27,000	
		きび	27,000	
その他作物	その他振興作物	小豆	13,000	
	準振興作物	葉たばこ	27,000	
		ホップ	27,000	
	一筆に上記記載作物の複数栽培		13,000	

※1　作付、植栽等から収穫までに年数を要する作物
※2　小果樹
※3　県枠メニューの助成対象外となるほ場のみ対象とする作物

別紙4　地力増進作物一覧

対象作物
ソルガム エンバク ライムギ イタリアンライグラス ヘアリーベッチ レンゲ クリムソンクローバ アカクローバ クロタラリア ヒマワリ マリーゴールド シロガラシ ナタネ カラシナ ハゼリソウ